あらしのよるに

ドンドンドラゴン

真っ暗な中にいたヤギは、誰かが入ってきて初めは驚いたと思います。蹄のような音が聞こえ、山羊だと思い込んでしまいます。でもその勘違いのおかげで、山羊は一晩中安心して過ごせたと思います。狼だと分かっていたら、嵐の外に出て逃げなくてはなりませんでした。

匂いに鋭い狼が鼻風邪を引いていなかった、山羊は速攻で食べられていたでしょう。

もしかしたら狼は気づいていないふりをしてくれていたのかもしれません。雷が光った時、本当は山羊のことが見えていたかも？

とてもどきどきするお話でした。この続きもどうなってしまうのか、ヤギは無事でいられるのか、心配になりました。

20 × 20